

科目名：子ども家庭福祉		講義・演習	担当教員名：遠田康人
			実務経験：有
1 年次 前期	2 単位		選択必修 / 必修
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども家庭福祉とは何かを学ぶことによって、子ども家庭福祉の専門職としての保育士の役割やその援助の在り方を理解する。</li> <li>・子ども家庭福祉に必要とされる基本的な考え方や法制度を始め、子育て支援や子ども虐待、ひとり親家庭、非行、貧困、外国籍の子どもなど、児童福祉サービスの現状や課題等の具体的な内容を学び、「子どもの最善の利益」について考え、行動できる保育者になれるようにする。</li> </ul>			
<p>授業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども家庭福祉の意義や歴史について体系的に説明する。</li> <li>・子どもの人権擁護の歴史・現状について理解する</li> <li>・子ども家庭福祉の法律・制度・期間・施設について講義する。</li> <li>・子ども家庭福祉の現状と課題について講義し、保育士を目指す学生が、子ども家庭福祉の専門職として果たすべき役割や援助活動について明らかにする。</li> </ul>			
授業計画			
1	子ども家庭福祉の理念と概要		
2	子どもの権利と法律（日本国憲法・子どもの権利条約、児童福祉法）		
3	子ども家庭福祉の歴史の変遷を学ぶ。		
4	児童憲章・子どもの権利条約に関する条約		
5	子ども家庭福祉の制度と法体系		
6	子ども家庭福祉の実施体系と児童福祉施設		
7	子ども家庭福祉の専門職、子ども家庭福祉と保育職		
8	少子化と地域子育て支援、母子保健と子どもの健全育成		
9	子どもの虐待と DV、その防止		
10	社会的養護		
11	障害のある子ども、少年非行、情緒に障害のある子ども等への対応		
12	貧困、外国籍の子どもとその家庭への対応		
13	次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進		
14	諸外国の子ども家庭福祉の動向、地域における連携・協働とネットワーク		
15	まとめ・定期試験		
<p>テキスト</p> <p>子どもの福祉（松本峰雄・野島正剛編著）建帛社、20年</p>			
参考書等 その都度紹介する			
評価の方法 定期試験＋受講態度＋課題			